

大田っ子だより R6. 12. 23 文責 校長

～みんなで楽しく2学期の思い出を作ろう～

12月18日（水）、6年生の教室に4～6年生が集まり、クリスマス会についての話し合いが始まりました。担任の「クリスマス会をしますか？」の問い合わせに、「みんなで楽しく2学期の思い出を作ろう」と子どもたちの思いが一致し、この日の話し合いとなったようです。

この時間のめあては、「クリスマス会の内容を決める」というものです。担任が後ろから子どもたちの様子を見守る中、司会の子が前に座り、会を進めます。

司会者の、「内容を何にしますか？」の投げかけに、みんなが楽しく盛り上がるものをと、「クイズ」「料理」「bingo」と意見が出されます。

出された内容にみんなが賛成し、次に担当を決めていくことになりました。料理作りは子どもたち全員で行うことになりました。そして、「クイズ」と「bingo」の担当を、4～6年生の児童の9人で分けようと考え始めた時、「クイズは、答える人がたくさんの方がおもしろいよ」と、いう意見が出されます。それを聞いた他の子どもたちも納得。「内容をもう一つ増やしたらいいのではないか」との建設的な意見も、他の子から出されます。結果、「手品」を入れることになり、「クイズ」「bingo」「手品」の3つの内容を、9人で分担して準備することになりました。

子ども同士がアイデアを出し合い、多くの納得感を得ながら決めていくこのような過程はとても大事で、だからこそ子どもたちの“やりたい！”という思いがより膨らみ、まさに子どもが主役の取組となっていきます。

自分たちが主役となり、企画・準備・実施するクリスマス会は、子どもたちにとって、きっと楽しくかけがえのない2学期の思い出となることでしょう。



～第3回学校運営協議会～

12月13日（金）、第3回学校運営協議会を開催いたしました。学校では、2学期も子どもたちの知・徳・体それぞれのさらなる成長に向け、さまざまな取組を行ってまいりました。会では、その取組状況について、以下のように、成果と課題をご説明いたしました。

＜学力向上の取組について＞

国語・算数・理科の単元末テストで、ほとんどの子が、自分で設定した目標点を上回ることができた。また、全員の児童が、“知りたい！”“やってみたい！”“やろう！”とい

う思いを持って学習に取り組み、授業の中で、友達と話しながら解決方法や答えを見つけることができていた。
＜よりよい人間関係作りの取組について＞

子どもたちは、“いつでも”“どこでも”“だれにでも”をキーワードに、よりよい言葉遣いを意識しながら、2学期を過ごすことができていた。

＜体・健康づくりの取組について＞

子どもたち一人一人、運動や健康づくりに進んで取り組むことができた。

課題については、体の柔軟性が低いという本校児童の体力面の課題に向けた取組が十分ではなかった。

そこで、3学期はこれまでってきた柔軟体操を見直すことにしていました。

会では、地域の皆様から温かいご支援をいただきながら実施している米作りやさつまいも作りについて、この米作りやさつまいも作りは来年度も行いたい旨をお話させていただきました。一方で、本校児童も少しずつ減少してきている中、現在の子どもの数に比べ田の面積が広く、田植え等のさまざまな作業が大変だったという課題も、委員の皆様と共有させていただきました。

委員から、「地域の方と関わりながらの米作りとさつまいも作りは、今後も続けてほしい」という意見が出され、今後課題を解決しつつ、子どもたちにとってさらに有意義な活動となるよう、地域の皆様のお力を引き続きお借りしながら取り組んでまいりたいと思った次第です。

委員の皆様、貴重なご意見、大変ありがとうございました。

冬の自然を感じながら・・・～徒歩通学～

ほとんどの子どもが毎日バス通学の中、12月20日（金）は、月に1度の全校徒歩通学の日です。この日の朝は、一面に霜が降りています。子どもたちの安全を見守るため一緒に歩いて下さる地域の野上さんが、集合した子どもたちに、この季節ならではの霜柱のお話をしてくださいます。学校へ向かう道中、水たまりに氷がはっているところもあり、踏んで割って楽しむ子どもの姿も見られます。

霜が降りたうっすらと白い世界の中、子どもたちはその寒さを体感しつつ、いつもと異なる様相を見せる冬の自然のおもしろさや不思議さを体全体で感じた徒歩通学となりました。

子どもたちの安全を見守ってくださった地域の皆様、ありがとうございました。

～素敵なしめ縄ができあがりました～

12月19日（木）、6年生が、稲刈りの際に残しておいた藁を使って、しめ縄づくりに挑戦しました。講師に安岐町の田端育代さんが来て下さり、おうちの方も数人参加してくださいました。藁の束をねじり、ねじった束を編んでいくのが難しく、二人で協力しながら作る親子の姿もありました。みんな唯一無二の素敵なしめ縄を作り上げることができました。

